



大討論会／司会



大討論会／発表



有吉 徳洋氏

—— 第50回 定時総会 大討論会問題提起 ——

『大討論会で「新しい景色」を共に見よう!』

【問題提起者】

(有)エーワンセキュリティサービス／代表取締役 **有吉 徳洋氏**

(香川同友会代表理事／高松第8支部)

私は同友会に入会して15年程になります。その間、いろいろな役職をさせていただきました。同友会で私は林代表理事、小西代表理事と共に代表理事を務めています。が、たぶん皆さん「あいつ大丈夫か?」と思ったのではないのでしょうか。振り返ると私は弱い経営者だったと思います。

でも諦めずに最後までやり通す経営者になって、皆さんにその姿を見ていただき、「あいつ本物やったな」「あいつでも頑張ったらあなれるんや」と思ってもらえるように役職や仕事を全うしていきたくと思っています。

私は今、ここに立っています。ですが、実は昨年の今頃、ほぼ1年前は現在の気持ちとは全く違って、同友会の役員も辞めようと考えていました。皆さん突然ですが、「経営をたのしむ」という言葉を聞いたことがありますか? 「た

のしむ」には二種類の意味があります。一つ目は単に「楽」をすること。「与えられた物理的なものに対して楽しくすること」。二つ目は「自分自身の気持ち。思いから生まれる楽しい状態」です。

昨年の今頃の私は完全に一つ目の「楽しむ」でした。もうええやないかという思いでいっぱいでした。独立して1年目は特需で何とかやれたものの、それからは毎年赤字続き、社員は数年の間に5人辞めました。10数名の会社で数年間で5人が辞めていく状況、皆さんには大体察しがつくと思います。

正直、心が折れました。多くの会社が倒産する中で、「我が社は20年やってきたんだから、俺は十分やった。もうこのままでええんやないか」本気でそう思いました。なので、役員も辞めようと思いましたが、成長する思いのない役員

大討論会／発表



大討論会／まとめ

が、皆さんに背中を見せることはできません。

ですが、私は今ここに立させていただいています。そのきっかけをつくってくれた方が多くおられますが、その中でも特別な三人がいます。皆さん同友会の仲間です。私の消えかけていた心に火をつけてくれた人たちです。

一人は、小西代表理事です。ある懇親会の席で、「有吉ってほんとに中途半端やな」という言葉が聞こえてきました。言葉の主は小西代表理事です。その場に居るのが辛く、その場から消えたいと思いました。

ただ振り返ると、あるとき

小西さんは「本気でやれと言うとるんやで」と、私の背中を押してくれていたのです。

もう一人は県外の同友会の会員さんです。その方の会社訪問で、私は自分が目指すべき姿を見ました。俺はこんなふうになりたいと、強く思いました。同時に自分は今まで先輩たちの姿を見ていなかったことに気付きました。

三人目は高松地域協議会のメンバーで高松第9支部の川原さんです。彼は余命数カ月だと告知されていたが最後の最後まで高松地域協議会づくりを諦めませんでした。彼のそんな姿に私は川原さんから「お前に託した。だからやるしかないんだ」と、言われたような気がしました。

企業も同じです。企業は社会的存在であり、企業活動は社会、地域との関わり抜きには考えられません。どんな企業づくりがしたいかを考えた

とき、どんな地域社会にしてほしいかを考えることが必要です。

逆に我々経営者ができるところをやらないことが、信頼できない社会です。私たちは今日も宣言しました。「成長する地域の一流企業となり、香川の希望となりましょう」と。そのためにどうするかを全力で考え、社員やお客さんと共につくり上げていくことが大事です。

冒頭でとても辛いときがあったことを話しましたが、今はそれはもう楽しい日々です。なぜなら、明確なビジョンと方針、計画が立案でき、具体的に動く場所があるからです。これが今の私の「新しい景色」です。

この後のグループ討論で、少しでもいいんです。何か自分はどうしたい。ああできたら社員やお客さんが幸せになり、地域もよくなる。そんな

ことを思い描いていただきたと思います。

香川同友会は今秋、青全交が開催されます。それに際して小西代表理事の「新しい景色」を見るためには、自立して自分自身で考えて行動することが求められていますが、これこそが本来の力です。それを多くの人が実践してくれば信頼される世の中づくりに繋がります。それを皆でやるために、どう助け合うかが大事になってきます。

最後に皆さんは、たった一度の人生をどのようにしたいですか？どんな生き様を残したいですか？そのときには皆さんの仲間たち、会社、地域がどうなっているってほしいですか？

これで私の問題提起を終わります。

定時総会に参加して

大討論会での学び

定時総会の大討論会でグループ長をさせていただきました。普段、支部例会等でのグループ長は、よくさせていただくのですが、県行事でのグループ長ということで普段とは勝手が違い、かなり緊張しながらの挑戦になりました。

有吉氏の問題提起が心打たれる熱いものだったこともあり、ぜひ良いグループ討論にしたいという意気込みはあったのですが、なかなか難しかったというのが正直な感想です。しかし、メンバーに恵まれ、討論自体は盛り上がり、学ぶことの多い時間でした。

「新しい景色」とは何か考えた私のグループの結論として

は、「新しい景色」を見るために何より大事なことは「経営者自身が自分の一生をかけても実現したいと思えることに挑戦できるか」であり、その挑戦が「新しい景色」につながるということでした。

そういった視点で、自社の理念やビジョンは「新しい景色」につながるのか考えると、どこか物足りないもの思えてくるかもしれません。青全交が近づいてきましたが、大きな成長のチャンスと捉え、積極的に学んでいきたいと思っています。

紫和司法書士事務所

代表 紫和雅史／記

(高松第8支部)

定時総会で感じた存在意義と

未来への力強い意志

定時総会に参加し、今期の活動方針「成長する地域の一流企業となりがわの希望に」が承認されました。「人を大切にする社会の実現」や「新

しい景色」を目指す運動への転換、そして50周年とこれからの展望が示され、今後の進むべき方向が非常に明確になった総会でした。企業づくり・地域づくり・同友会づくりの三位一体の構想に、香川同友会の存在意義と未来への力強い意志を感じました。

私は青年部委員会の委員長として、また理事としても参加しましたが、自社の成長のみならず、地域や同友会の未来を担う次世代リーダーの育成に一層力を注ぐ覚悟を新たにしました。自社の発展は経営者として当然の責務であり、それを土台に地域に良い影響を波及させる存在にならねばならないと強く感じました。

今回の総会は、単なる報告の場にとどまらず、大討論会や懇親を通じて、互いに学び合い、高め合える貴重な機会でもありました。

また、来賓としてご参加い



ただいた池田県知事からは、「中小企業のチャレンジを最大限支援する」との心強い激励もいただきました。この言葉を胸に、私たち中小企業経営者がそれぞれの持ち場で責任を果たし、ともに地域と未来を創っていくことが重要であると感じています。

香川同友会の会員が力を合わせ、地域と共に歩むことで、香川の未来は必ず明るくなると確信しました。まずは11月開催の青全交を、オール香川で大成功させましょう！

青年部委員会 委員長

オートモールジャパン(株)

代表取締役

西山彰一朗／記

(高松第4支部)

第50回定時総会のまとめ

定時総会へのご参加ありがとうございました！

第50回 定時総会 実行委員長

(株)アロバー／代表取締役 **関本 亜紀氏**
(副代表理事・高松第3支部)

実 行委員のメンバーで打ち合わせをしていく中で、私たちが思い描いていたものが二つあります。一つ目は香川同友会の進むべき方向を全会員で確認し合い、志をひとつにすること。二つ目は同友会での学びを単なる知識だけにとどめず、それぞれの経営にどう実践として活かしていくかを改めて考える機会にしたいというものでした。

例年ビッグネーム（と呼ばれる経営者）をお呼びして講演を聴き学びとする形式でした。この形も大変良いのですが、私の想いは香川同友会の会員の皆さんと対話をしながら育ち合うという形にしたかったのです。それがまさに今回の「大討論会」です。いったい何をするんだ？と思われた方もいるかもしれませんが、当日会場のあちこちから熱気ある議論が聞こえ、それぞれの立場から率直に意見を交わす光景は、まさに「新しい景色」の入口でした。

この討論会をきっかけに、参加された皆さんの中に「よっしゃ、よい会社になるぞ！」という前向きな決意が芽生えてきたと確信しています。11月にはいよいよ青年経営者全国交流会です！さらに視座を高め、共に「新しい景色」を見ましょう！！



関本 亜紀氏

会議での経験を課題に置き換えることで学ぶ

第50回 定時総会 大討論会部会長

(有)東條電機サービス／代表取締役 **東條 勲氏**
(中讃第1支部)

定 時総会を実行委員会の一員として参加させていただきました。その中の大討論会部会が私の担当でしたが、総会は基調講演を行うのが多く、私も報告者選定などに関わりたくて、こちらの担当を希望しました。ふたを開けてみると今年は討論会をやる！しかも大討論会をやる！とのこと。『大』ってついてますし、まあこれはこれでどうなることかとワクワクしておりました。

スケジュールや問題提起者の候補者選びなどメンバーと会議を重ねました。メンバーは仕事終わりの時間でも前向きで、非常に活発な意見が聞けて、それだけでも参加した意義がありました。これまでは「運営はめんどくさい」と感じるような会議も経験しましたが、今回は本当に貴重な経験でした。何度も顔を合わせ議論し、課題を見つけ打開策を練っていく。会議での経験を自社や自分自身、そして仲間の課題に置き換えることで、非常に学びの多い濃い時間を過ごすことができました。この場にいられたことを本当に感謝しています。ありがとうございました。

当日の大討論会は、関本実行委員長や委員会メンバー、問題提起を引き受けてくれた有吉代表理

事、そしてなにより参加してくれた香川県中の仲間のおかげで白熱した時間でした。「新しい景色を見る」ためには、一人じゃできないことだらけだけど、自分自身としっかり向き合うことも大切なことなんだと感じました。これからも共に育ち共に歩み共に笑いたいと思います。



東條 勲氏

PHOTO DIARY



定時総会の模様をスナップショット！

【ご臨席いただいた来賓の皆様】※順不同

四国財務局／総務部長 林 信裕 様
香川県／知事 池田 豊人 様
高松市／創造都市推進局 産業経済部長 幸田 安隆 様
さぬき市／市長 大山 茂樹 様

株式会社百十四銀行／地域サステナビリティ推進部長 三澤まき代 様

株式会社香川銀行／常務執行役員本店営業部長 兼
本店営業部南新町出張所長 兼
本店営業部宮脇町出張所長 宮城 直樹 様
高松信用金庫／理事・業務推進部長 青井 敏文 様
観音寺信用金庫／常務理事 岡部 典明 様
香川県信用組合／理事・融資部長・企業支援室長 辰玄 和利 様

日本労働組合総連合会香川県連合会／会長 福家 良一 様

四国職業能力開発大学校／副校長 水野 隆志 様

香川県教育委員会／副教育長 塩田 広宣 様



第1部 定時総会 来賓



第3部 懇親会 来賓



第1部 来賓挨拶 池田豊人様



第1部 来賓挨拶 林信裕様



第1部 来賓挨拶 大山茂樹様



第3部 乾杯挨拶 岡部典明様



議長

副議長



総会宣言



会員増強表彰



支部例会参加率最優秀賞 東瀬支部



支部例会参加率最優秀賞 高松第9支部



会歴30年表彰



30年勤続表彰



定時総会閉会挨拶



懇親会開会挨拶



第50期 支部長



第50期 委員長



青全交in香川 PR



第50回定時総会実行委員長挨拶